

# 県内避難者9411人

## 避難所は100人以上減る

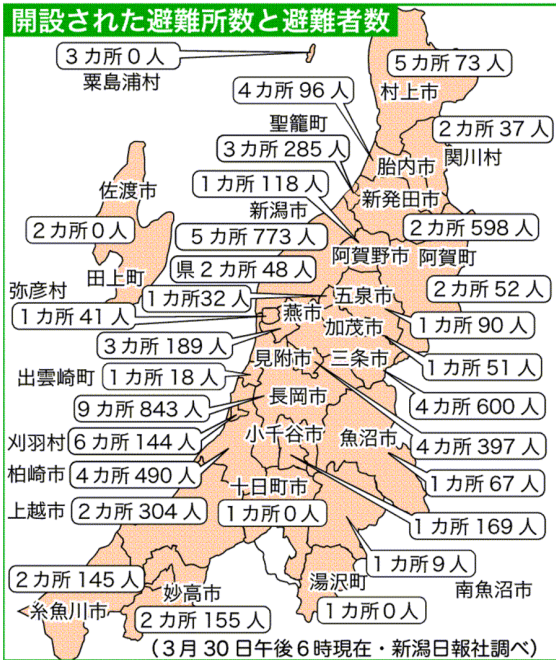
東日本大震災で福島県などから県内に避難した人は新潟日報社のまとめで30日午後6時現在、県と29市町村の77避難所で計5824人になった。そのほか、各市町村の調査で把握できた個人宅などへの避難者は1884人となった。県の集計による病院、民間宿泊施設などの受け入れ数も合わせると、県内の避難者は少なくとも9411人になる。

避難所は前日より100人以上減少。民間宿泊施設での避難者も減る傾向で、各市町村によると、仕事の関係で自宅に戻る人や、アパートを借りて移る人がみられるという。一方、避難所以外では各市町村が親戚・知人家や教員住宅、社宅などへの避難者数を調査しており、これまでに刈羽村が261人、柏崎市が250人を把握するなど、調査が進むたびに増え続けている。

このほか、県の30日のもよみによると、病院や社会福祉施設などに

295人、福島県境周辺などで抽出した民間宿泊施設100カ所に269人。県や新潟市による放射性物質の付着の有無を調べる検査（スクリーニング）は30日、新潟市中央区の新潟アルサなど4カ所で25人が受け（一部29

日分も含む）、14～30日555人。ほかに柏崎市は15～30日の累計が26午後5時までの累計は555人が独自に行っている検査55人になった。



※上記以外に長岡市の福祉施設に116人、湯沢町や佐渡市、南魚沼市、十日町市の民間宿泊施設に各835人、172人、132人、4人。

(3月30日午後6時現在・新潟日報社調べ)